

 学校HP ↓ QR コード 	横浜市立川和東小学校 学校便り 自分 仲間 学校 まち 夢をつくる <i>Create!</i> 	10月号 発行日 2026年 9月25日
--	---	---

データから見つめる子どもたちの今と、これからの学校教育

先日、文部科学省より OECD の PISA 調査（国際学習到達度調査）の結果が公表されました。日本は「科学コンピテンシー」「読解力」「数学的リテラシー」の3分野でトップクラスの成績となった一方、一部で課題も指摘されています。特に新聞の「家庭の関わり 最下位」という見出しは多くの関心を集めました。

川和東小学校に着任以来、多くの保護者の皆様とお話しし、ご家庭での温かいエピソードなどをお聞きしてきた私としては、この「関わりが少ない」という結果に大きな違和感を覚え、詳しく調べてみました。データをさらに分析すると、「生活満足度」については、OECD 平均と同程度を保っていることが分かります。数値の表面だけでは見えてこない、ご家庭での様々な工夫や愛情が、子どもたちの安心感を支えているのではないかと考えました。

PISA2025 3分野の平均点の国際比較（OECD 加盟国中）

	科学コンピテンシー	読解力	数学的リテラシー
1	日本	日本	日本
2	エストニア	韓国	韓国
3	韓国	アイルランド	エストニア

（出典：「PISA2025 のポイント」 国立教育政策研究所）

私たち教職員は、こうしたデータの表面的な一部のみにとらわれることなく、多面的に捉えて分析することが大切であると考えています。児童一人ひとりの実態やこれまでの教育実践を生かし、日々の学校改善へと確実につなげてまいります。

子どもたちの豊かで健やかな成長と、学校教育目標の達成には、何より保護者や地域の皆様のお力添えが欠かせません。日頃の温かいご理解とご支援に深く感謝申し上げますとともに、後期も引き続き、学校教育目標『創造する子 Create』を合い言葉に、ご家庭・地域の皆様と力を合わせて魅力ある学校づくりを進めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

（副校長 小林 圭）

参考：国立教育政策研究所 「PISA2025 のポイント」
https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pisa/pdf/2025/01_point.pdf